

令和2年度新入生へ

校長の言葉

本日入学式はできませんでしたが、80名の入学を許可いたしました。新入生の皆さん、入学おめでとうございます。新入生の皆さんは看護師を目指して本校を選び入学しました。このことは小中学校への入学とは違い、大きな意味を持っています。厳しい受験勉強を克服し突破した努力の賜物であるとともに、励まし見守っていただいた御家族、友人、御指導いただいた先生方を始めとする多くの方々のおかげであることを心に刻み、感謝の気持ちをいつまでも持ち続けてほしいと思います。

皆さんが夢と希望を抱いて入学した本校は、昭和45年に埼玉県立常盤女子高等学校として創設され、今年度で51年目を迎えます。

本校で学んだ多くの先輩たちは、この半世紀、立派な看護職者として国内はもとより広く海外でも活躍しています。

新入生の皆さんも本校で学び、将来、社会を担う看護師となってほしいと思います。そのためにまず学校生活の中で身につけていただきたいことを3つお話しします。

1つ目はいろいろな活動を通して豊かな人間性を身につけることです。

看護師の仕事は人が人を看護することです。高度な機器が開発されたり人工知能が発達したりしても、人による看護にとってかわることはできないのではないのでしょうか。

看護師がその職責を果たすためには、看護の知識や技術だけでなく豊かな人間性を身につけ、人として成熟することが求められます。これからの高校生活では、教科の学習だけでなく学校行事や部活動やボランティア活動などに積極的に取り組んで自分を高め、豊かな人間性を身につけてください。

2つ目は知識・技術をしっかり身につけることです。

皆さんは1年生から看護科の専門科目を学ぶことになります。確かな知識や技術を身につけてください。高度な知識や技術を修得することは容易いことではありません。自ら学ぶ姿勢をもって取り組みましょう。そのためにも高校生として身につけるべき学力、国語・英語・数学・理科・社会などの普通科目もしっかりと学んで教養を身につけてください。

3つ目は「生涯学び続ける力」を身につけることです。

知識や技術が高度化し変化の速い現代社会で生きていくためには、新しい知識・技術を修得し続けなくてはなりません。特に進歩の著しい医療や看護の世界では学び続けること不可欠となります。看護師となってからも様々な学びの場があり、高等学校専攻科からの大学編入の道も開かれましたので、努力次第でより高度な知識や技術の修得もできます。そして学び続けるために、学ぼうとする意欲や「学ぶ力」が大切になります。「学ぶ力」は一朝一夕で身につけられるものではありません。常盤高校の5年間で「学ぶ力」をしっかりと身につけ、将来に渡って学び続けられるようになってください。

皆さんは「凡事徹底」という言葉を知っていますか？「当たり前のことを徹底して行う」ということです。今現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止が何よりも優先され、皆さんの日常生活、当たり前のことが当たり前でできない状況が続いています。極めて困難な状況である今こそ、私たちは一人ひとり自覚のある行動をとり、全ての人々と協力していくことが求められています。皆さんも今日から常盤高校の生徒として自覚ある生活を送ってください。

これからの5年間は楽しいことだけでなく、辛いことも沢山あるでしょう。それでも皆さんは一人ではなく同じ志をもつ仲間がいて、それを支える先生や家族がいます。ぜひ5年後に「充実した高校生活だった」と思えるよう、一日一日を大切に過ごしてください。

結びになりますが、保護者の皆様、本日はお子様の入学、誠におめでとうございます。皆様の大切なお子様をお預かりする責任の重さに身の引き締まる思いですが、保護者の皆様と手を携えてお子様の成長のため全力を尽くす所存です。お子様の成長のために様々な場面で保護者の皆様と教職員が実習病院の皆様や地域の方々などの御協力も戴きながら教育活動を行うこととなります。保護者の皆様には御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

新入生の皆さんの高校生活が充実したものになりますよう祈念し、校長の言葉といたします。

令和2年4月8日

埼玉県立常盤高等学校長 山田 直子